



千葉商科大学

NEWS LETTER

-Vol.28- 2009 / 11 / 16 発行

「千葉商科大学ニューズレター」は、教育・研究、地域連携、国際交流などさまざまな側面で行われている千葉商科大学の活動、「実学教育」のさらなる充実をめざした戦略的な取り組みなどの最新情報を、日ごろご支援いただいている皆様にお伝えしています。原則として毎月月初にお届けいたします。

ニューズレターの全文や記事の詳細は、本学 Web サイトに掲載されています。

<http://www.cuc.ac.jp/>

◆ご意見、ご要望をお寄せ下さい◆

発行者
千葉商科大学
学長事務室
(戦略広報係)

TEL
047-372-4111(代)
FAX
047-373-9969
E-mail
p-office@cuc.ac.jp



千葉商科大学学長 島田晴雄からみなさまへ



学長 島田晴雄

今月のニューズレターは、いつもより少し遅れて皆様のお手元に届けられることとなります。その理由は、11月3日(火・祝)に行われた本学同窓生の皆様との「第1回ホームカミングデー」の内容をこの紙面を借りて報告させていただいたためです。

本学は創立81周年を迎え、これまで多くの方が本学を卒業されましたが、現在は約3万名の皆様が全国で活躍をされています。ホームカミングデーとは、そうした本学の卒業生の皆様に市川キャンパスにお帰りいただき、旧交を温めていただくとともに、本学の現状をご覧いただき、心と力を合わせていこうという趣旨のもと、11月1日(日)から3日(火・祝)にかけて行われた瑞穂祭(学園祭)の最終日に企画されました。当日は、全国から約300名の同窓生の皆様がキャンパスに集まってくださり、雲ひとつない青空のもとオープニングセレモニーが執り行われました。セレモニーでは、本学応援団OBによる見事なリーダー、応援歌、狸踊り、また本学少林寺拳法OBによる力強い演武が行われ、本学の優れた伝統に想いを馳せる皆様を前に、身の引き締まる思いがいたしました。

そして、在学生が案内する学内の見学に続き、昼過ぎから同窓会定期総会が行われました。定期総会では、この日を期して全国の同窓会員のために編集された同窓会情報誌「きずな」の創刊号が配布されました。「きずな」は、たくさんの写真と多くの寄稿を掲載する小冊子で、これから年3回ほどの発行と、次号からはこの活動を維持するために維持会費を募り、その方々に配布させていただきます。

その後、懇親会が本館7階のホールで行われ、それに引き続き、新たに始まった「秋の音楽祭」が開催されました。音楽祭は3部から編成され、第1部の歌曲とクラシック音楽では、私と、学長補佐で政策情報学部の内田茂男教授が、カンツォーネや各国の歌曲、ならびにオペラのアリアを歌い、武蔵野音楽大学の大坪由里先生が伴奏とラフマニノフの「鐘」の演奏、そして長友美夏先生が伴奏をされました。第2部では、本学の教職員を中心としたジャズバンドによる軽快で素敵なジャズセッション、そして第3部では自由参加による楽しいカラオケ大会で和気藹々たるひとときを共有しました。このカラオケ大会では、原田嘉中理事長が本邦初公開の「琵琶湖周航の歌」をご披露くださいました。



ホームカミングデーは、同窓生と大学関係者との心温まる交流のひとつとなりました。今後もこのような活動を通して、同窓生の皆様と大学は、より緊密な関係を築いて参りたいと思います。

◆ユニバーシティ・アワー 今後の実施予定

どなたでも聴講できます!

【申込】学長事務室 戦略企画係 TEL:047-372-4111(代) [時間]13:10~14:40 [場所]本学7号館702号室

月	日	内 容
11月	25日(水)	「仕事で本当に大切にしたいこと~目指せ社会起業家!~」 (アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)創業者・最高顧問 大竹 美喜氏)
12月	2日(水)	「2050年を見据えたコペンハーゲン合意を~ポスト京都の温暖化交渉の行方を占う~」 (元国際環境保護団体WWF(世界自然環境保護基金)気候変動特別顧問、政策情報学部非常勤講師 結川 ゆりか氏)
	9日(水)	「島田学長と大いに語るう会」
	16日(水)	「スポーツチームの経営と地域活性化」 (NSGグループ 代表、株式会社アルビレックス新潟 取締役会長 池田 弘氏)
	23日(水)	キッズビジネスタウンに関するテーマ

※プログラムは変更になることがあります。

予約制「Welcome Seat」スタート ～サービス創造学部へご招待いたします～

サービス創造学部は、この秋学期より授業教室に予約制「ウェルカムシート」を設置し、一般の方にも授業の一部を開放いたします。本学部では、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の3つの柱で構成された、これまでの大学教育と一線を画した先進的な教育プログラムの一端を多くの方に実感していただきたい

と考え、一般の方や本学学生保護者の方が無料聴講できる制度を設けました。従来の聴講制度とは異なり、通期ではなく1回ごとに無料参加することができるのも大きな特徴のひとつです。申込方法等、詳しくはWebサイトをご参照ください。

問合せ先：サービス創造オフィス [TEL] 047-372-4111(代)

決定!! 商経学部「こんなビジネスやってみ大賞」宮城県一迫商業高校ご当地検定で地域の魅力を発信

11月1日(日)本学図書館5階会議場にて、商経学部「こんなビジネスやってみ大賞」の最終審査及び大賞授与式が開催されました。これは世の中の困りごとを解決するビジネスの新たなソーシャルプランを高校生より募集したもので、全国から多くの応募があり、厳選な書類審査の結果、5つの企画が最終審査に選出。最終審査会場では高校生たちによる熱きプレゼンテーションが繰り広げられました。



審査の結果、最優秀賞には、宮城県一迫商業高校2年伊藤佳澄さん、同校1年沖田美由紀さん、小野寺夏美さん、岩淵陽香さんの「地域の魅力発信企画—栗原検定事業(ご当地検定事業)」が選ばれました。このプランは、「栗原市のご当地検定を通じて、10市町村が合併して誕生した栗原市の魅力を伝え、地域の活性化をはかる。」としてプレゼン用資料も多数用意され、完成度も高く審査員の高評価を受けました。最終審査及び大賞授与式の模様はWebサイトに詳しく掲載されています。

未来のクリエイターたちによるフレッシュな作品を発表!! 「政策情報学部の学生による発表会」

CG アニメーション
演劇 ダンス etc...

政策情報学部の「文化・表現メディアコース」で学ぶ学生たちは、映像、音楽、CG等さまざまな表現方法を駆使しながら、クリエイティブな活動に取り組んでいます。11月11日(水)のユニバーシティ・アワーでは、日ごろの活動成果を発表しました。



「生きもののかたち」生きものの粘土造形作品を1点ずつポスターにし、ナレーションで紹介。細部まで丁寧に表現された造形作品と、生きもの「かたち」のおもしろさを語った。



「わたしはれっぴい」NHKみんなのうたをイメージした作詞・作曲・歌・アニメーションすべてオリジナルの作品。制作過程も詳細に発表。アニメと歌はインターネットYouTubeで見ることができる。



「心月弧円」毎日、午前2時から5時の新聞配達をして大学に通う自身の姿を脚本化し、演じた。働く自分の心理を掘り下げた。音響、音素材採取、照明すべてが学生たちによるものである。



「音と色と身体の競演 Rhythmic Cooperation」 榎沢政策情報学部教授の研究グループが開発した「音楽で絵を描くシステム」を使用して、パーカッションの学生が音によって絵を描く。色のダイナミクスとダンス学生とのコラボが迫力の作品。

これら作品のほか、「UP TO YOU ～伝統からの再創造～」では、津軽三味線演奏者取材した卒業生制作のドキュメンタリー映像が公開されました。

「文化・表現メディアコース」では、専門教授陣のきめ細やかな指導により、独創的な未来のクリエイターを育てます。

お知らせ

入試情報 商経学部/政策情報学部/サービス創造学部 … 詳細は、入試広報課までお問い合わせください。

中小企業診断士養成コース開設記念フォーラム

大学院修士課程の3研究科合同で「中小企業診断士養成コース(中小企業診断士登録養成課程)」の開設を記念したフォーラムを開催します。島田晴雄学長による「中小企業の安定的発展と経営戦略」と題した基調講演や日本経済を支える中小企業を支援する立場にあるパネリストの皆様をお招きし、中小企業の活性化と経営革新への戦略を提案いたします。

日時：2009年12月3日(木)
会場：千葉商科大学 図書館5階国際会議場 どなたでも聴講できます
時間：15:00～17:00
申込問合せ先：独立大学院オフィス
[TEL] 047-372-4111(代) [E-mail] grad@cuc.ac.jp
★詳細はWebサイトでご確認ください。

特別経営人材養成プログラム第一弾 「中小企業のための基幹人材養成特別講座」

多数の赤字会社を黒字化し、日本のゴーンと称される長谷川和廣氏を講師に迎え、同氏の経営ノウハウが詰まったベストセラー著書「社長のノート」、「超・会社力」を元に、実務に即応するエッセンスを体得します。

■応募要領

会場：Galleria 商.Tokyo(丸の内サテライト教室)
日程：2010年1月20日～3月24日(全10回)18:30～20:40
定員：20名(定員になり次第締切)
受講料：200,000円
講師：会社力研究所 代表 長谷川和廣氏
詳細及びお問合せ先：独立大学院オフィス
[TEL] 047-372-4111(代) [E-mail] grad@cuc.ac.jp

★詳細はWebサイトでご確認ください。

サステナビリティ・プログラム

設計・プロデュースは、東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)副機構長の武内和彦教授(東京大学)。気候変動の緩和策・適応策の推進、3Rの推進による循環型社会の形成、人間と自然が共生する社会の形成など各分野の第一人者を学界、産業界からそれぞれ講師に迎え、持続可能な社会づくりをめざした取り組みについて、広範な議論を展開します。

■応募要領

対象者：社会人
会場：Galleria 商.Tokyo(丸の内サテライト教室)
日程：2010年2月～12月(全12回)19:00～21:00
定員：30名(定員になり次第締切) 受講料：150,000円
詳細及びお問合せ先：晴耕塾事務局
[TEL] 047-372-4111(代)

★詳細はWebサイトでご確認ください。